

## ロボテック戦略月次レター（2022年2月の振り返り）

# ヘルスケア分野が健闘

手術支援ロボット関連が堅調、なおロシアのウクライナ侵攻で市場のセンチメントは悪化

2月の世界株式市場（MSCI ACWI、米ドルベース）は、ロシアのウクライナ軍事侵攻により地政学リスクが月末にかけて市場センチメントに大きいのしかかり、1月に続いて下落しました。

当月のロボテック戦略は、主として米国の保有銘柄の株価上昇がプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。全般的な株価下落の中、ヘルスケアセクターの一部がプラス寄与しました。



米国では、病院や医療システムが新型コロナへの緊急体制から通常体制に戻りつつあります。手術支援ロボットの活用も増えています

国際社会はウクライナ侵攻に対して、ロシアおよび関連企業への大規模な経済制裁で対抗しました。本稿執筆時点においては、極めて不透明な状況が続いています。ロシアは欧州にとって最大の天然ガス供給国であり、ウクライナはガスパイプラインの重要なルートであることからエネルギー価格が急騰し、新たなインフレ懸念が生じています。そして、インフレ高進や金利上昇により、経済成長の減速が市場では懸念されています。このため投資家の間では、市場の不透明感によって米連邦準備制度理事会（FRB）が2022年に実施すると見られる利上げの頻度が、経済への影響を緩和するためより緩やかになるとの見方もあります。

地政学リスクによってもたらされた不透明感から、市場においてボラティリティが上昇し、利益確定の動きが生じることは驚くにあたりません。当戦略ではロシアやウクライナへの直接的なエクスポージャーはありません。また、同地域における売上高が相当な比率を占める組入銘柄もありません。運用チームでは状況を注視し、投資するセクターや企業のファンダメンタルズが引き続き堅固なものであれば、株価の下落を利用して投資するいい機会になると考えています。

また、ロシアへの経済制裁に伴い世界的なサプライチェーンの混乱が生じていますが、今後改善していくとみられます。

## EV関連では異業種提携などの加速で自動化関連設備投資も拡大へ

電気自動車（EV）関連ではこのほど、ソニーグループとホンダがEV事業提携を発表しました。年内に共同出資会社を設立し、ソニーのセンサー、通信、エンターテインメント技術とホンダの量産技術を活か



異業種提携などによりEVの進化が進み、それと共に製造工程におけるロボットや自動化への設備投資の拡大が見込まれます。

高度なロボットや自動化への設備投資が一層拡大するとみられます。

## ポートフォリオの動向

当月はヘルスケア関連銘柄が堅調なパフォーマンスとなりプラス寄与となりました。中でも手術支援ロボットを手掛ける企業が好調でした。尿失禁治療に用いられる仙骨神経刺激装置を開発する米国のアクソニクスは、コロナ禍による医療の逼迫が一段落したことから手術件数が回復し良好な業績を示しました。このような傾向はコンメド（手術用ロボットの部品サプライヤー）やグローバス・メディカル（脊椎手術用ロボット）などの組入銘柄でも同様に見られます。

一方、一部の半導体関連銘柄は昨年後半の堅調なパフォーマンスを受けて利益確定の売りが続いており、マイナス寄与となりました。これらの銘柄は1月および2月に行われた決算発表で、人工知能(AI)や高性能コンピューティングへのニーズの高まり、自動車の製造原価に占める半導体の比率増加など長期的な成長トレンドが持続していることを追い風に好調な業績を示しました。

ディスクレマー

### アクサIMについて

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）は責任ある資産運用会社であり、長期的なアクティブ運用を行うことで、お客様、従業員、そして世界の繁栄を支援しています。当社の確信度の高い運用アプローチにより、代替資産クラスおよび伝統的資産クラス全般で最も良好な投資機会と考えられるものを追求しています。2021年12月末時点で約8,870億ユーロの運用資産残高を有しています。

アクサIMは、グリーン、社会、サステナブル市場における先進的な投資家であり、2021年12月末時点で5,630億ユーロにおよぶESG（環境、社会、ガバナンス）統合済みのサステナブルおよびインパクト資産を運用しています。当社は、2050年までに、全運用資産における温室効果ガス排出のネットゼロ達成をコミットしており、株式銘柄選択から企業行動や文化に至る当社の事業にESG原則が組み込まれています。当社の目標は、社会と環境に有意義な変化をもたらしつつ、お客様に真に価値のある責任投資ソリューションをご提供することです。

2021年12月末時点で、アクサIMは18カ国28拠点において2,400名超の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサIMは、世界最大級の保険および資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

### 投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はお客様の負担となります。

#### 【ご留意事項】

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-24562